

安全データシート (SDS)

作成日: 2017年12月 1日

改訂日: 2023年 3月23日

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ウロコ・ワイパー傷除去研磨剤 (ハード)
供給者の会社名称 : 株式会社クリスタルプロセス
住所 : 〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目10-18
電話番号 : 082-493-7700 (代)
FAX番号 : 082-493-7701
推奨用途及び使用上の制限 : ガラス用研磨剤

2 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性 : 区分に該当しない。
健康に対する有害性 : 皮膚腐食性/刺激性 区分3
: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B
環境に対する有害性 : 区分に該当しない。
* 記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

【GHSラベル要素】

絵表示 : -

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激
: 眼刺激

【注意書き】

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
: 取扱い後は手をよく洗うこと。
: 取扱い後は手をよく洗うこと。
応急措置
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
: 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
: 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
: その後も洗浄を続けること。
: 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
保管 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS番号	化審法*1	安衛法*2	含有量
酸化セリウム	1306-38-3	(1)-627	-	非公開
アルミノケイ酸ガラス	非公開	非公開	-	非公開
多価アルコール	非公開	非公開	-	非公開
安定剤	非公開	非公開	-	非公開
防腐剤	非公開	非公開	-	微量
ほう酸ナトリウム	12179-04-3	(1)-69	No.544	0.50%
水	7732-18-5	-	-	残量

*1 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

*2 労働安全衛生法 第57条の2 名称等を通知すべき有害物質 政令番号

4 応急処置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
嘔吐させないこと。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
直ちに医師の手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察／手当てを受けること。
応急措置をする者の保護 : 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気を付けさせる。
医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素(CO₂)。
使ってはならない消火剤 : 水。
火災時の特有の危険有害性 : 加熱および火災により有害な蒸気、ガスが生成されることがある。
特有の消火方法 : 火災や爆発の場合、ヒュームを吸入してはならない。
もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。
流出水は環境に有害性の懸念あり。
消火を行う者の保護 : 消防士は防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、
自給式呼吸器(SCBA)を着用する。

6 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。
流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。
流出物質に触ったり、踏んだりしない。
閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。
適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 安全を確認してから流出防止の措置をとる。環境への流出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法
及び機材 : 全ての着火源を取り除く(その場での喫煙、炎、スパークまたは火災は
禁止)。可燃性物質(木材、紙、油など)を流出物から遠ざける。
大量の漏出 : 危険を伴わずにできる場合、物質の流れを止める。
可能な場合、漏出物をプラスチックのシートなどで覆い、拡散を防止する。
パーミキュライト、砂、土などの不燃材料を用いて漏出物を吸収し、廃棄のための容器に収める。
水路、下水道、地下または密閉された場所への流入を防ぐ。
少量の漏出 : 布等の吸収材で拭き取る。
残った汚染を除去するために床をよく清掃すること。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 製品を取り扱う時、使用するすべての装置を接地すること。
火花を発生させない工具および防爆型装置を使用する。
蒸気は空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。
適切な換気を行う。
- 安全取扱い注意事項 : 使用前に取扱説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 接触回避 : 「10 安定性及び反応性」を参照。
適切な衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
- 保管
安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
安全な容器包装材料 : 元の容器で保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
—	未設定	未設定	未設定

- 設備対策 : 防爆型の全体および局所排気型換気装置。

洗眼設備を設置する。

保護具	
呼吸器の保護具	: 適切な保護マスクまたは呼吸器用保護具を着用する。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	: 側板付き安全眼鏡(またはゴーグル)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。

9 物理化学的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 薄茶色
臭い	: 微臭
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点	: 約100°C
沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界	
上限	: データなし
下限	: データなし
可燃限界	: データなし
引火点	: 引火性なし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 9.0±0.5
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に分散する
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.25 (20°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 適用外

10 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件では安定。
化学的安定性	: 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	: 危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11 有害性情報

【有害性情報】	
急性毒性(経口)	: 毒性未知成分が0.1%以上なので、分類できない。
急性毒性(経皮)	: 毒性未知成分が0.1%以上なので、分類できない。
急性毒性(吸入: 気体)	: 本製品はGHS定義による気体ではないため区分に該当しない。
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 毒性未知成分が0.1%以上なので、分類できない。
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	: 毒性未知成分が0.1%以上なので、分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 加成方式が適用できる成分からの判定: 区分2 の成分合計が1%以上、10%未満のため、区分3 に該当。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 加成方式が適用できる成分からの判定: 区分2B の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2B に該当。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: 毒性未知成分を含有しているため、分類できない。
生殖細胞変異原性	: 毒性未知成分を含有しているため、分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: 動粘性率が不明のため、分類できない。
	*この製品で安全性試験は行っていない。

12 環境影響情報

生態毒性	: 水生環境有害性 短期(急性) 分類できない。 : 水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない。
残留性・分解性	: データなし

生態蓄積性	: データなし
土壌中の有害性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却処理。 本物質を下水や給水設備に流さないこと。
汚染容器及び包装	: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

14 輸送上の注意

国際規制	
IATA	
国連番号	: 非該当
国連輸送名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
IMDG	
国連番号	: 非該当
国連輸送名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
国内規制	: 国内輸送については「15 適用法令」の規制に従うこと。
緊急時応急措置指針番号	: 非該当

15 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
消防法	: 非該当
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	: 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR法)	: 非該当

16 引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) <http://www.safe.nite.go.jp>
「化学物質総合情報提供システム」データベース (CHRP)
厚生労働省 職場の安全サイト「GHS対応モデルSDS」
JIS Z 7253 : 2019、 JIS Z 7252 : 2019
日本産業衛生学会
Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices. ACGIH

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。
全ての化学製品には未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。
御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。
また、特別な取扱いをするときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。